

『離婚・再婚家族と子ども研究』執筆要項

【論文の構成】

1. いずれの論文も、刷り上がり 12 頁以内とする (25,920 字以内)。
2. 投稿の際には①～⑤を別々のファイルに用意し、以下の順に並べる。
 - ① 表題 (日本語, 英語), 要約 (日本語, 英語)
 - ② 本文 (引用文献を含む。著者名・所属機関名は書かない)
 - ③ 図 (図 1 枚につき 1 ページを使用し、順に通し番号をつける)
 - ④ 表 (表 1 枚につき 1 ページを使用し、順に通し番号をつける)
 - ⑤ 付記 (研究助成や謝辞等の追記は「付記」という見出しに統一し、「謝辞」等の他の見出しは用いない。また、研究助成や謝辞を含める場合は、論文が採択された後、最終稿提出の時点で記載することとし、投稿時には一切記載しない。)

【原稿の体裁】

3. 本文は、日本語論文の場合、A4 判縦置き・横書きで、左右の余白を 5.5cm 以上とし、1 枚の字数は 24 字×45 行 (刷り上がり 2 段組の 1 段にあたる) とする。右横の空白に、図表等の挿入箇所を指定する。
4. 本文には、各ページにページ番号と行番号を記載すること。

【記載上の留意点】

5. 常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔、明瞭に記述する。英文は熟達した人の校閲を経ていること。
6. 印刷中の論文は、刊行年の箇所に「(印刷中)」と明記し、投稿中の論文は、末尾に「(投稿中)」と明記する。投稿中の論文については投稿先の雑誌名は記載しない。
7. 上記に定めた以外の形式面 (句読点、統計量の記載、図表の記載、引用文献および脚注等の形式) の記載は、以下にのいずれかにしたがう。投稿者は、これらのどの形式で記載したかを投稿時に申告し、一論文には 1 つの形式を一貫して使用して形式が混在しないようにする。
 - a) 日本心理学会発行の「日本心理学会執筆・投稿の手びき」(最新版)にしたがう。
 - b) 法律編集者懇話会発行の「法律文献等の出典の表示方法」(最新版)にしたがう。
 - c) 日本社会学会『社会学評論』スタイルガイド(最新版)にしたがう。
 - d) 日本社会福祉学会『社会福祉学』執筆要項(最新版)にしたがう。
8. 本規定の改正は、編集委員会の議をへて、理事会の承認を以て行なう。
9. この規定は、2019 年 7 月 6 日より施行する。

以上